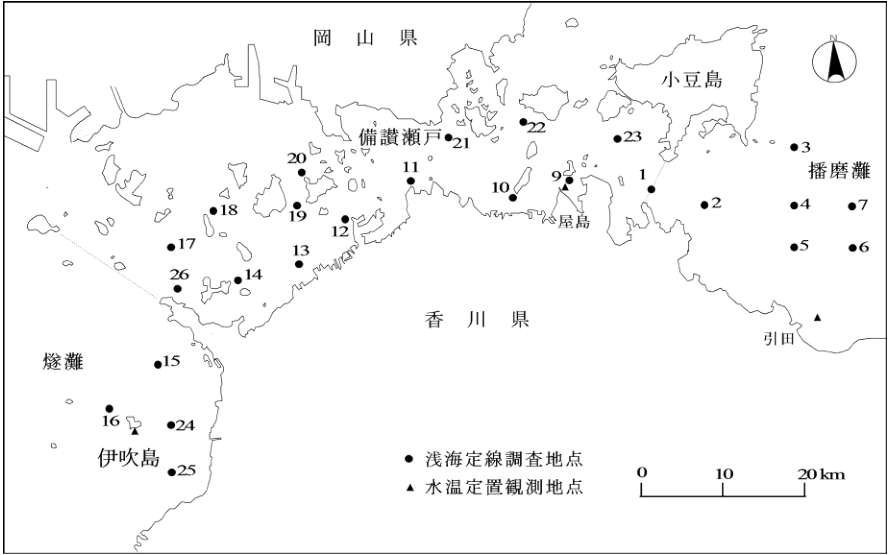


香川県漁海況情報 令和7年2月（R6-11号）

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

令和7年2月3日（備讃瀬戸、燧灘）、2月7日（播磨灘）播磨灘は地点1を除き欠測

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「やや低め」から「平年並み」、塩分は「やや低め」、透明度は「やや低め」から「平年並み」、溶存酸素は「平年並み」から「やや高め」であった。

2月

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素(ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	地点1の結果	8.7	8.7	8.7	32.0	32.0	32.0	7.5	6.56	6.53
	平年値	9.5	9.5	9.5	32.5	32.5	32.6	9.6	6.32	6.25
	平年偏差	-0.9	-0.8	-0.8	-0.5	-0.5	-0.6	-2.1	0.24	0.28
	標準偏差(σ)	0.8	0.8	0.9	0.6	0.6	0.6	2.4	0.34	0.54
	状 況	やや低め	やや低め	やや低め	やや低め	やや低め	やや低め	やや低め	やや高め	平年並み
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	9.0	9.0	9.0	32.2	32.2	32.2	4.9	6.56	6.54
	平年値	9.5	9.5	9.5	32.7	32.8	32.8	6.4	6.35	6.36
	平年偏差	-0.5	-0.5	-0.5	-0.6	-0.6	-0.6	-1.5	0.21	0.18
	標準偏差(σ)	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	1.7	0.33	0.33
	状 況	やや低め	やや低め	やや低め	やや低め	やや低め	やや低め	やや低め	やや高め	平年並み
燧 灘	4地点平均値	9.9	10.0	9.9	32.4	32.5	32.5	8.6	6.61	6.50
	平年値	10.1	10.1	10.2	32.9	33.0	33.0	8.2	6.44	6.20
	平年偏差	-0.2	-0.2	-0.2	-0.5	-0.5	-0.5	0.4	0.17	0.30
	標準偏差(σ)	0.7	0.7	0.7	0.5	0.5	0.5	2.4	0.38	1.06
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	やや低め	やや低め	平年並み	平年並み	平年並み

※播磨灘は地点1の数値であるが、平年値・平年偏差等は7地点の平均から算出

平年偏差＝平均値－平年値

平年値の算出期間

平成3年（1991）1月～令和2年（2020）12月

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ （σ：標準偏差）
やや高め（やや低め） $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$
かなり高め（かなり低め） $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$
著しく高め（著しく低め） $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

3) 定置観測 (水温)

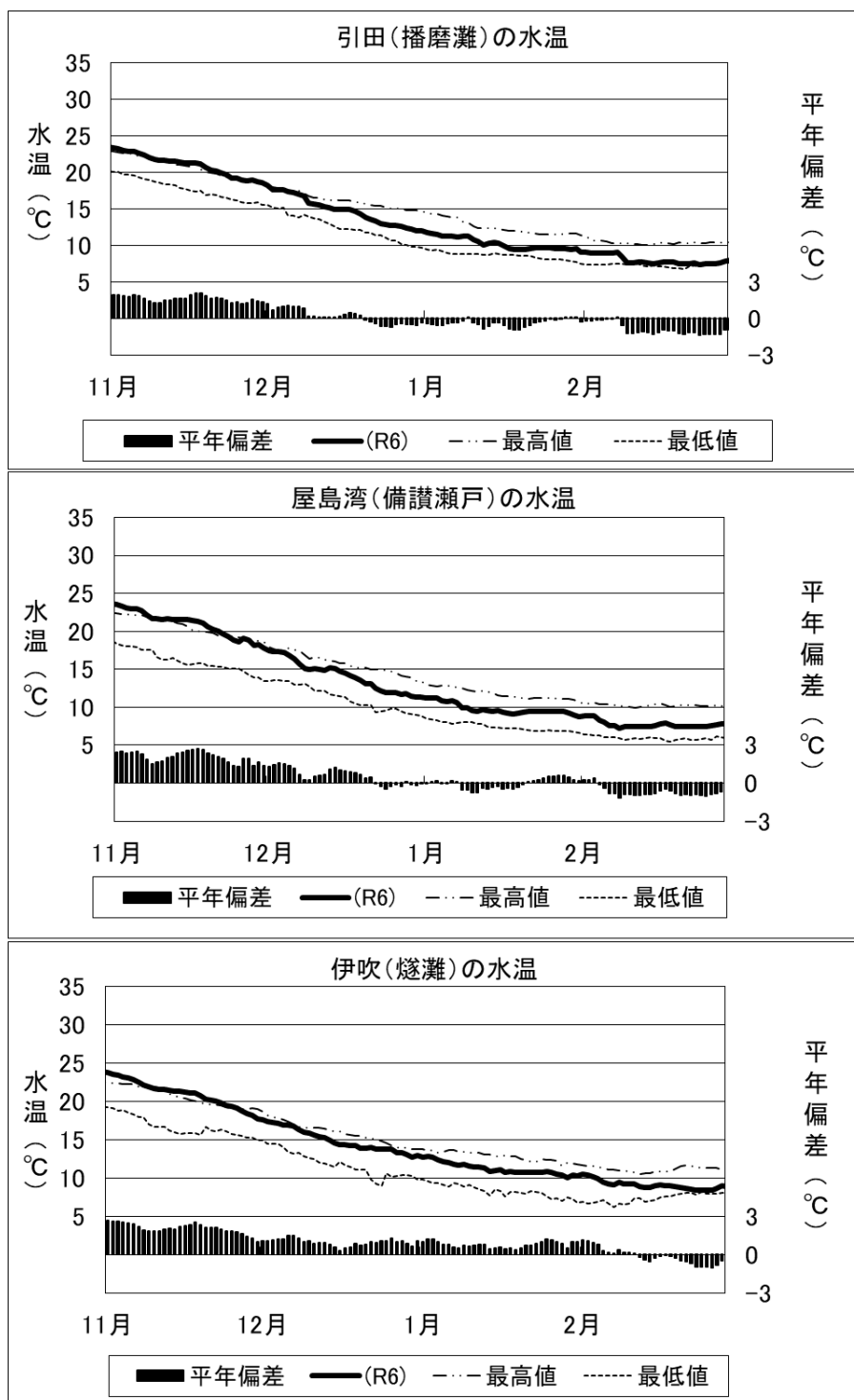
播磨灘 (引田) : 11 月下旬まで著しく高い状態が続いたが、その後低下し 12 月中旬以降はやや低めから平年並みであった。その後は 2 月下旬までかなり低めとなった。

備讃瀬戸 (屋島) : 11 月下旬まで著しく高い状態が続いたが、その後低下し 12 月中旬以降はやや低めから平年並みであった。その後も 2 月下旬までやや低めで推移した。

燧灘 (伊吹) : 11 月下旬まで著しく高い状態が続いたが、その後低下し 12 月中旬以降はやや低めから平年並みであった。その後も 2 月下旬までやや低めで推移した。

※燧灘の水温は、平成 31 年 4 月 1 日から伊吹島地先で測定しているが、それ以前は大浜地先で測定していたことから、平年値の算出には両地先におけるデータを使用している。

平年値の算出期間 引田及び伊吹：平成元（1989）～令和 5（2023）年
屋島：昭和 50（1975）～令和 5（2023）年



4) 赤潮 (2月1日~2月28日)

播磨灘：なし
備讃瀬戸：なし
燧灘：なし

5) 卵稚仔

調査日：令和7年2月3日（備讃瀬戸，燧灘），2月7日（播磨灘の地点1）

出現量（個・尾／曳網）※播磨灘の平年値は7地点の平均

		カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00		
	対平年(%)	－	－	－	0.00		
備讃瀬戸	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.17		
	対平年(%)	－	－	－	0.00		
燧灘	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.63		
	対平年(%)	－	－	－	0.00		
総平均	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.19		
	対平年(%)	－	－	－	0.00		

－：平年値が0の場合を示す。（その他の魚類については平年値がない。）

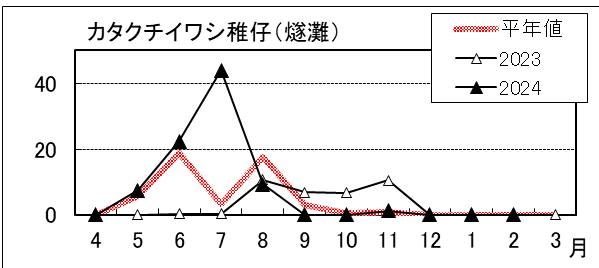
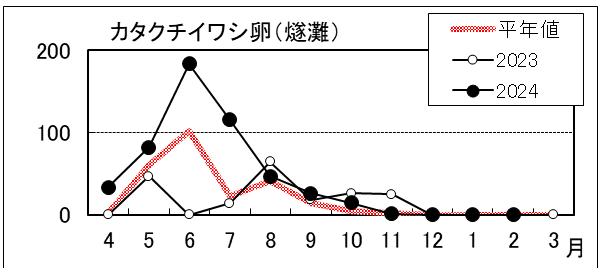
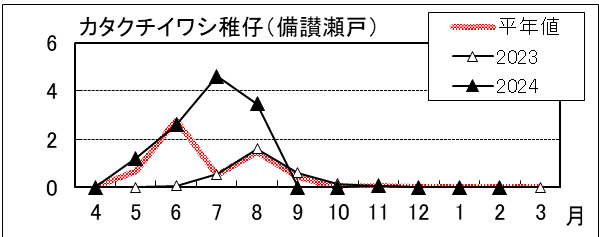
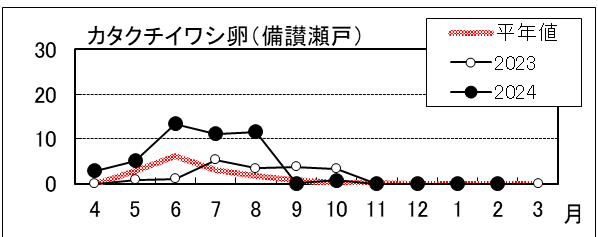
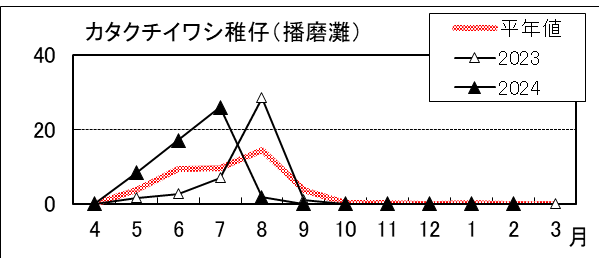
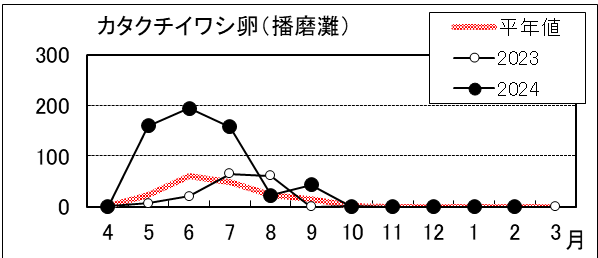
平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）年度～令和5（2023）年度

マイワシ：平成6（1994）年度～令和5（2023）年度

＊マイワシの卵・稚仔は，平成14年度以降，確認されていない。

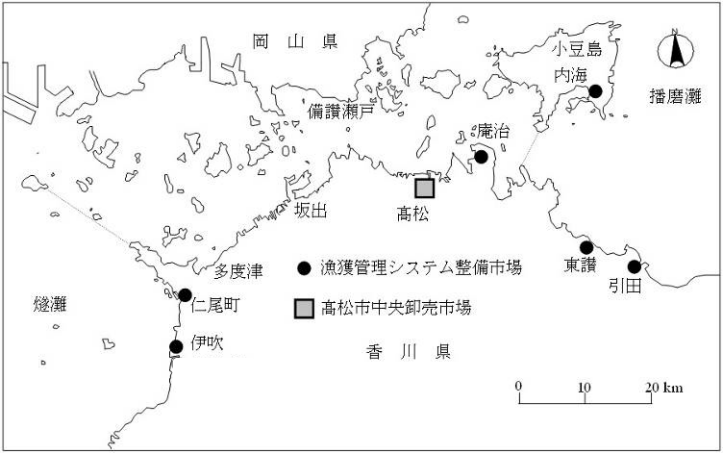
＊イカナゴの卵は，沈性弱粘着卵のため，プランクトンネットではほとんど採集されない。



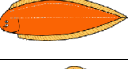
2. 漁況

1) 主要魚種の漁獲動向

次の地図に示す市場から収集した情報に基づいて漁獲動向を整理した。



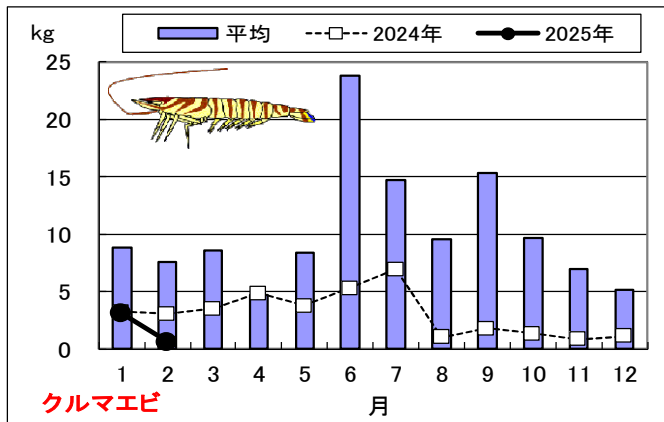
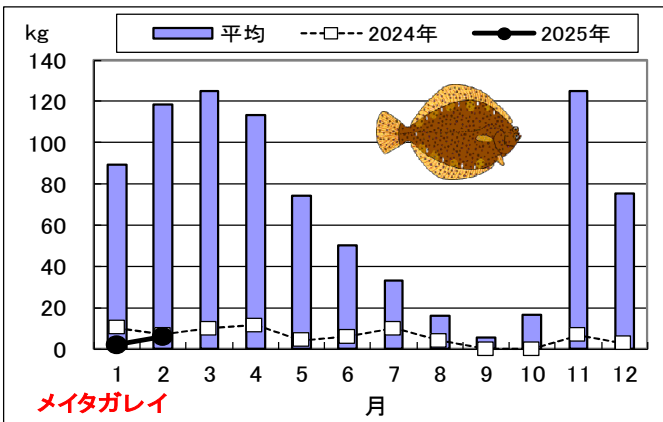
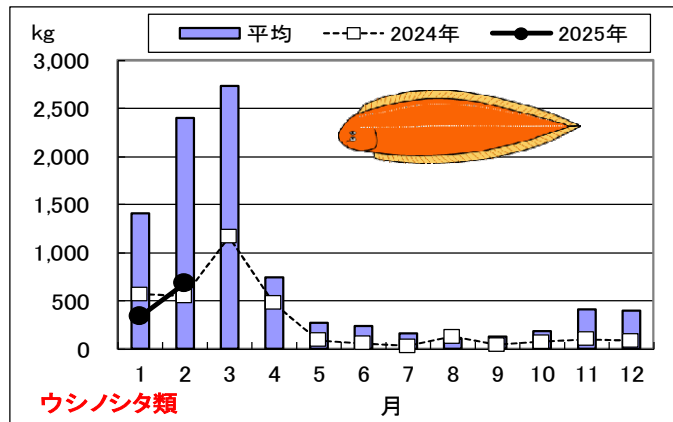
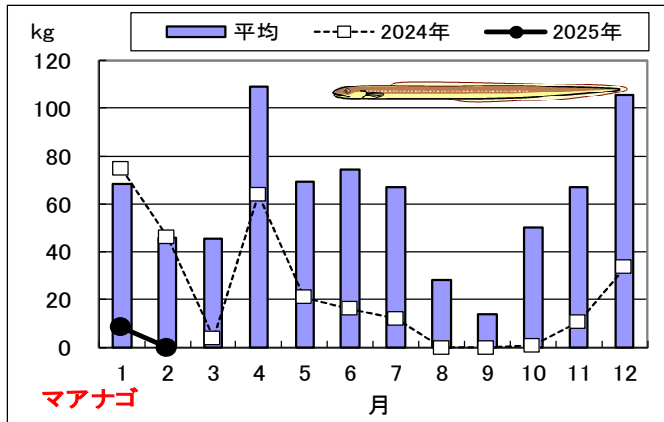
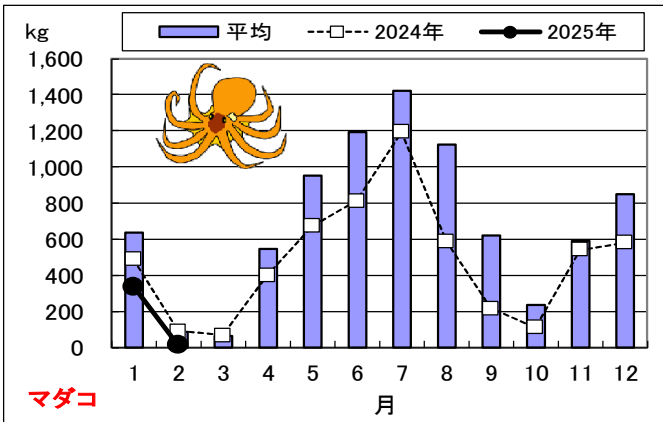
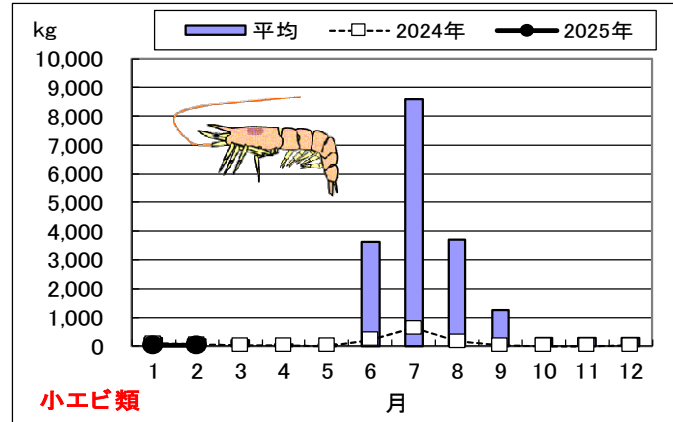
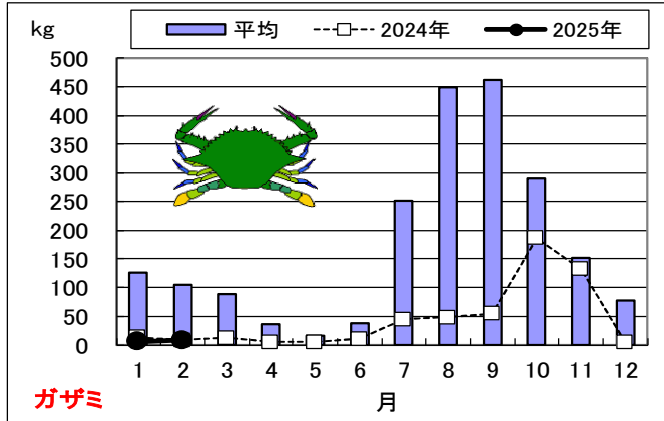
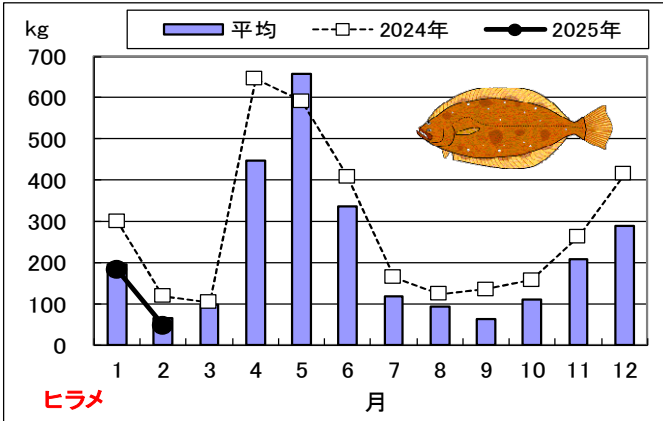
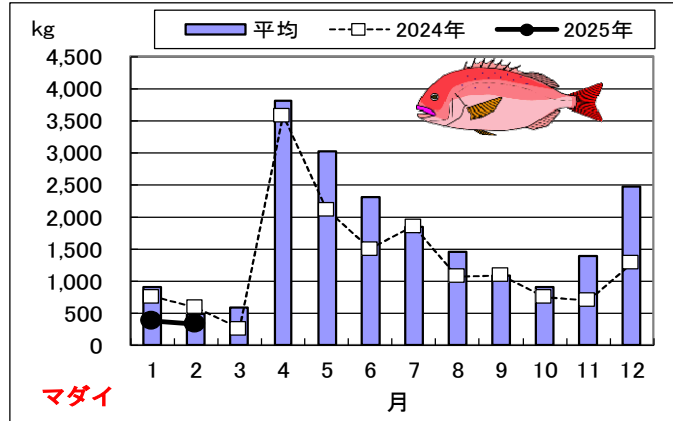
過去10ヶ年平均値と比較した海域別魚種別漁獲動向

令和7年2月の漁獲動向	播磨灘 (引田+東讃+内海)	備讃瀬戸 (庵治)	燧灘 (仁尾町+伊吹)
マダイ 			
ヒラメ 			
ガザミ 			
小エビ類 			
マダコ 			
マアナゴ 			
ウシノシタ類 			
メイトガレイ 			
クルマエビ 			

過去10ヶ年平均値比	≥200%	200%> ≥160%	160%> ≥120%	120%> ≥80%	80%> ≥40%	40%> ≥0%
判定	著しく多い	かなり多い	多い	平年並み	少ない	かなり少ない
表示						

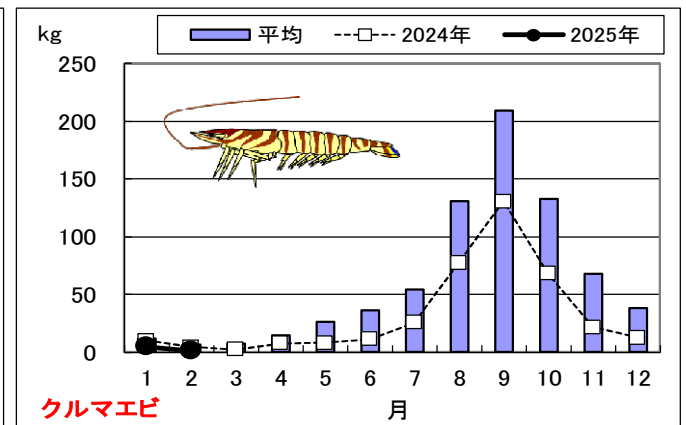
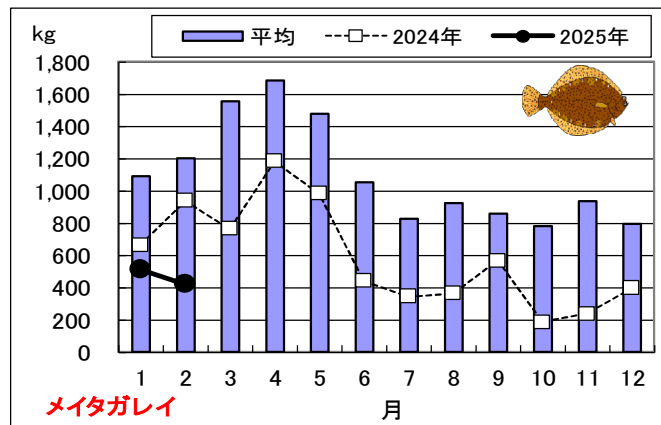
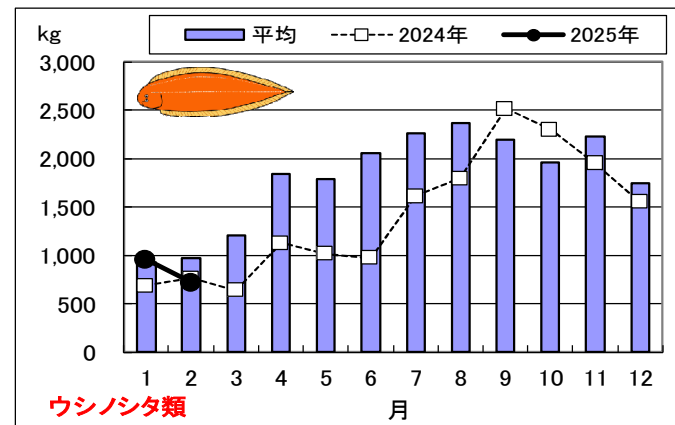
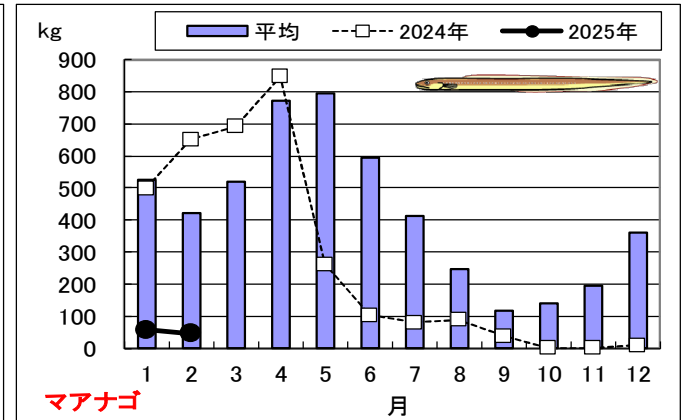
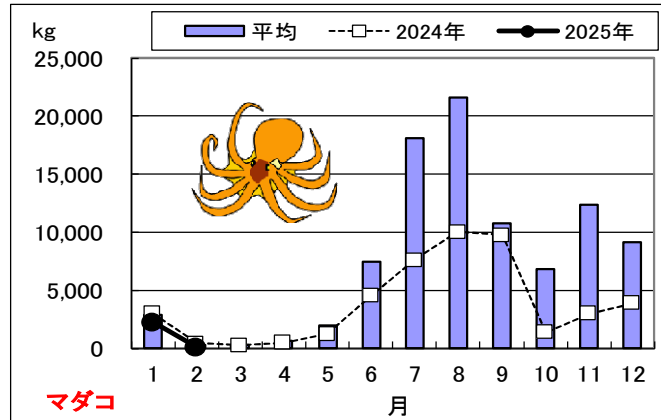
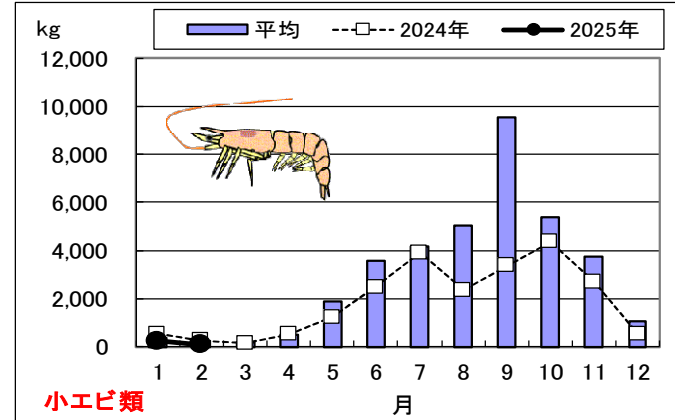
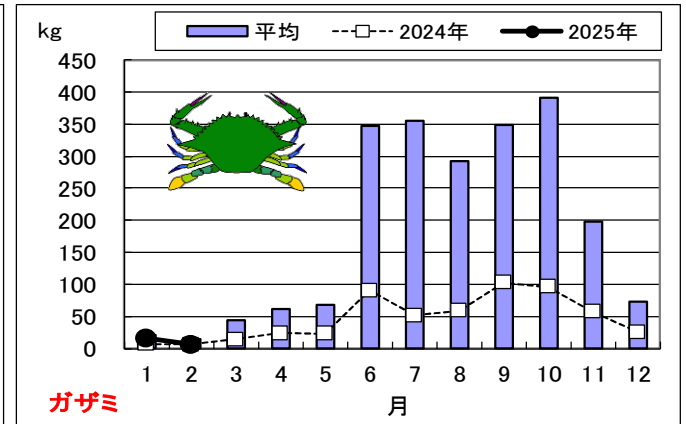
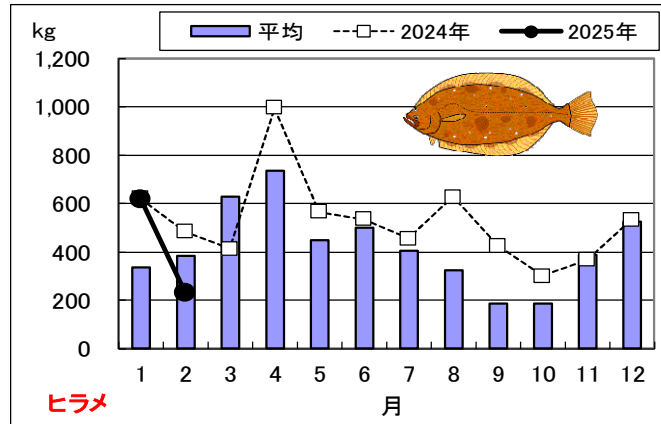
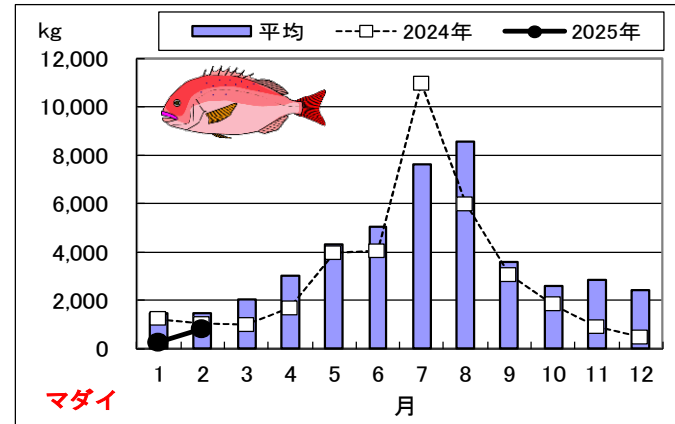
播磨灘（引田+東讃+内海） T A Cシステムデータより

平均値は、2015年から2024年の10年間の平均。

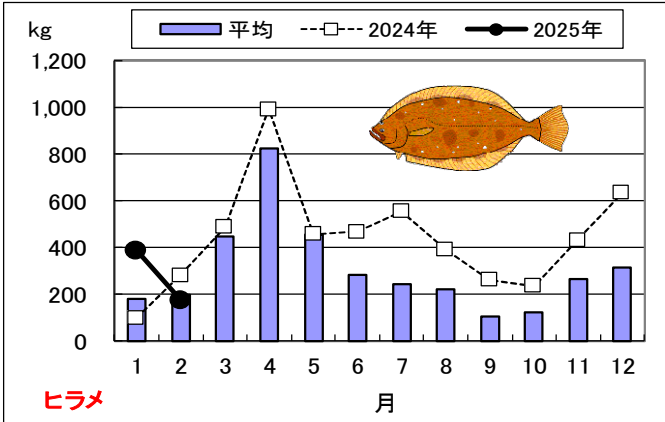
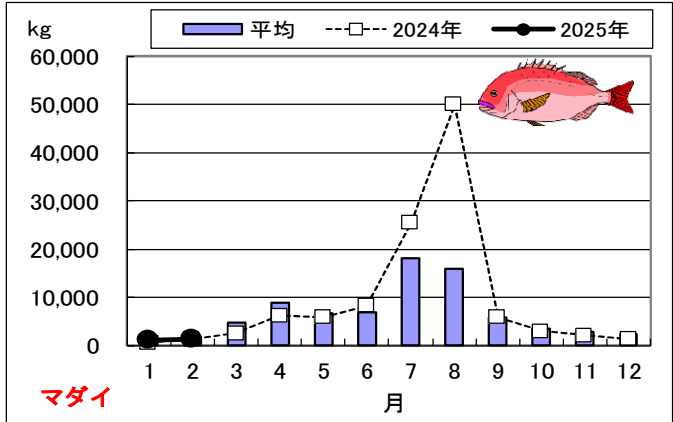


備讃瀬戸（庵治） TACシステムデータより

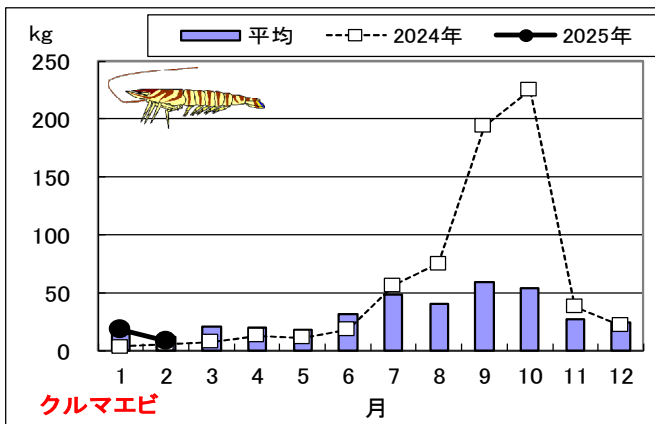
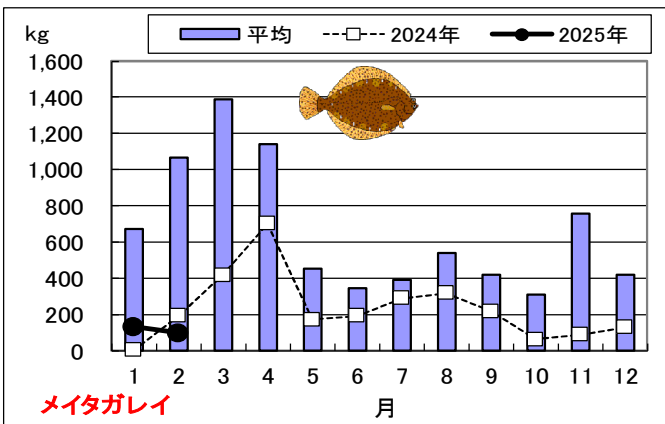
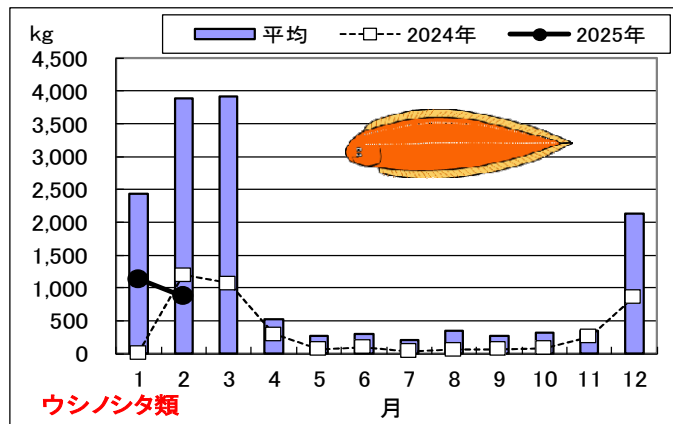
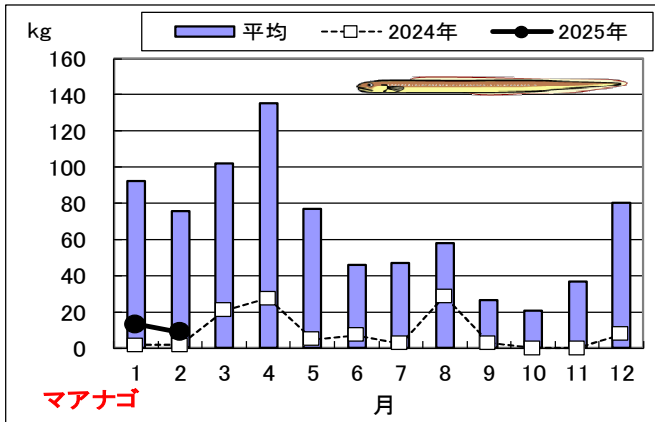
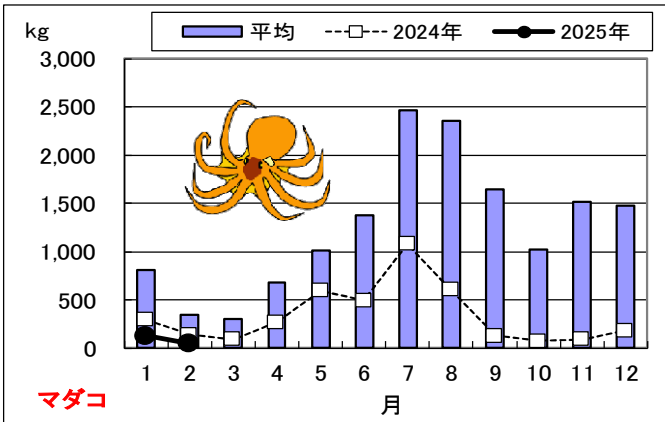
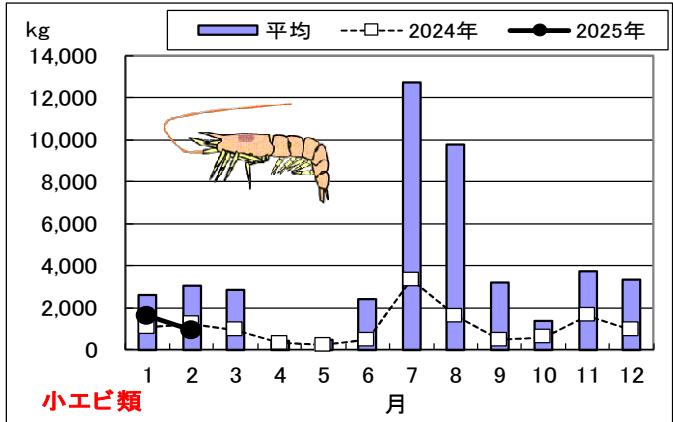
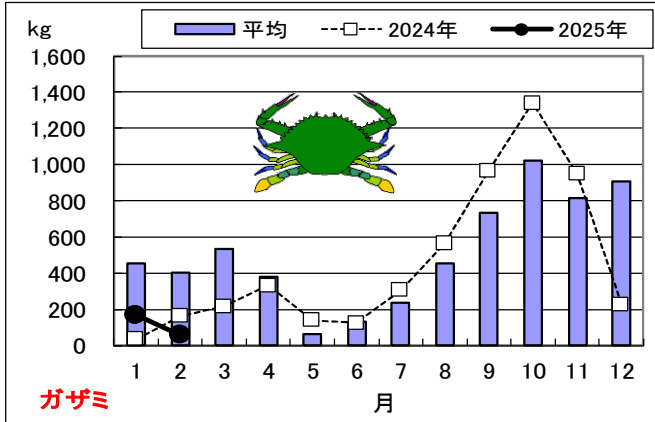
平均値は、2015年から2024年の10年間の平均。



燧灘（三豊市＋伊吹） T A Cシステムデータより



平均値は、2015年から2024年の10年間の平均。



高松市中央卸売市場（県内産鮮魚：東讃・小豆・中讃・三豊地区からも入荷あり） 高松市HPより

平均値は、2015年から2024年の10年間の平均。

